

令和3年度 大阪府立布施高等学校第3回学校運営協議会全日制部会 議事録

日 時：令和4年2月22日(火) 15:30~17:00

場 所：文化会館2階会議室

出席者：委員4名（久会長 川添副会長 岡田委員 那須委員）

事務局：校長、事務部長、教頭、首席2名

1. 学校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 報告

令和3年度学校説明会実施状況について

4. 協議

令和3年度学校経営計画評価について

【教員向け学校教育自己診断アンケートの項目において評価が低いことについて】

○生徒の望むゴールのレベルと先生の望むレベルが違うのか。先生の望むレベルが高すぎとみなすべきなのか。生徒はそれをどのように評価しているのか気になる。

○先生方の意欲をあげるためのしなげを考へていく必要があるのではないか。

○チームビルディングの改善の方法として、チーム内において頻繁に情報共有を行うためにスラックのようなビジネス向けのチャットツール等を利用してみるのはどうか。

○Google Classroom などを利用して、より情報公開および共有をすることは可能である。

○チームビルディングに関して、「学校運営計画」に基づいて自分はどのように動けばいいのかと考へてもらうために、事前に計画を作る段階で皆と相談して共有していくことによって、自分のもの（計画）と実感して共有することができるのではないか。

○目ざす学校像について、話し合う場があるとよいのではないか。

○学校教育自己診断アンケートの中に、自由記述欄はないのか。あれば意見等拾い上げることができる。

○オンライン授業等が入り、ICT の活用で苦勞している（自己肯定感が低くなっている）教員も多いのではないか。

○VOD（スタディサプリなど）を否定的にとらえるのではなく、肯定的に使用して、授業改善につなぐことができればよいのではないか。例えば、スタディサプリを学習させた後で授業をして確認する反転授業なども考へられる。

【ICT 委員会の活用について】

→Chromebook を使ってどのように授業をするのか、オンライン授業のマニュアル化や研修が必要だと感じている。既に何回か研修も済ませた。また来年度は ICT 委員会を情報部という分掌に格上げし、一層の ICT 関連の充実を図る予定である。

○教員の年齢によってオンライン授業を難しく考へる人がいるのであれば、レベルを均一

化するためにもより一層のマニュアルの共有が必要ではないか。

○これから新しい時代を生き抜いていくための人材が必要である。そのために何をすべきか。例えばプロジェクトの発表をメタバースなどの仮想空間内で行うなど、どんどん新しい取り組みをする必要がある。

○ICT を上手に活用できる人が、まず始める。そして ICT が苦手と感じる人をリードしてあげることが必要ではないか。

【国際交流について】

→今年度は国内のイングリッシュキャンプを行ったが、来年度はできるだけ海外への語学研修を実施したい。

→修学旅行もできれば海外の学校交流を軸に据えたいと考えている。

令和4年度学校経営計画（案）について

→来年度の重点目標として、情報部が中心となり、1人1台端末を効果的にするための研修会や好事例の共有等を含めた組織的な取り組みを推進する予定である。

→国際交流において、リモートによる交流も検討する。

→「学校運営室」「生徒支援室」の機能に実効性を持たせて運営委員会を活性化させながらすべての教職員で課題を共有できるようにし、学校の組織力向上をめざす。

各委員からのご意見なく案について了承された。